



第38回福岡県学童保育研究集会

「子ども時間を生きる」 「子どもを 信じる」

～共に歩むあなたが
大切にしたいこと～



とき **2020年2月23日(日)**

午前9時40分～午後4時30分(受付 9:20～)

ところ **宗像ユリックス(記念講演・分科会)**
メイトム宗像(分科会)



■記念講演

『ひとりでがんばらなくてもいいんだよ
～子どもが生き生き育つ社会とは』

講師・中西新太郎

(関東学院大学教授・横浜市立大学名誉教授)

◆主催 福岡県学童保育連絡協議会

◆後援

福岡県・福岡市・北九州市・久留米市・朝倉市・飯塚市・糸島市・うきは市・大川市・大野城市・大牟田市・小郡市・春日市・嘉麻市・古賀市教育委員会・田川市教育委員会・筑後市・筑紫野市教育委員会・那珂川市・中間市・直方市・福津市・豊前市・みやま市・宮若市・宗像市・柳川市・八女市・行橋市教育委員会・芦屋町・宇美町・大木町・岡垣町・遠賀町・粕屋町教育委員会・香春町・鞍手町・小竹町・篠栗町教育委員会・志免町・新宮町・須恵町教育委員会・添田町・大刀洗町・筑前町・久山町・広川町・福智町・みやこ町・赤村

日 程

9:20	9:40	10:20	10:40	12:15	13:30	16:30
受付	開会行事	特別報告	記念講演	昼食	分科会	

◆ 記念講演 (10:40~12:10)

『ひとりでがんばらなくてもいいんだよ ～子どもが生き生き育つ社会とは』



講師・中西新太郎
(関東学院大学教授・
横浜市立大学名誉教授)

☆講師プロフィール

1948年生まれ。関東学院大学教授、横浜市立大学名誉教授。現代日本の子どもたちがどのような成長の難しさにぶつかっているか、大きく変化している社会環境の下で、子どもたちの成長を支えケアに携わる保育関係者・教育者が直面している課題はなにか、子育ての困難に直面している子育て家庭の共同の力をどのように育んでゆくか、人間同士の豊かなコミュニケーションを生み出す文化とはどんなものか関心を持ち、追求してきた。

『若者保守化のリアル』(花伝社2019) 「子どもたちの〈いま〉——共に歩む大人が大切にしたいこと①～⑥」(『日本の学童ほいく』2019年4月号～9月号)

『若者は社会を変えられるか』(かもがわ出版・2019)

『人が人のなかで生きてゆくこと 社会をひらく「ケア」の視点から』(はるか書房2015)

----- 切り取り -----

申込み〆切 2月3日(月)

※キャンセルは2月15日(土)までと

第38回福岡県学童保育研究集会参加申込書

2020年2月23日(日)

氏名	ふりがな	市 町 村
参加証送り先	住所(〒)	所属学童名
	(クラブ)(tel)	保護者 放課後児童支援員 行政 その他()
<ul style="list-style-type: none"> ● 参加費／ 会員 2,000円 非会員 2,500円 ● 両親参加／ 会員 3,000円 非会員 4,000円 ● 弁当代 700円(個) (子ども用) 450円(個) 		(あそびの広場を希望する子どもの名前)
		(才)(才)

		(才)(才)
合計		円
希望分科会	第1希望()	第2希望()

◆分科会(13:30～16:30)

	テーマ	分科会の内容	助言者
1	国や自治体施策と学童保育の役割	2015 年度から学童保育は、市町村が実施主体となり、条例で定めた「最低基準」を守り、どの学童保育でも守らなければならない国が定めた「運営指針」にそって実施し、専門職である支援員を常勤配置して、質の高い子どもの権利を守る学童保育をつくっていく制度に変わりました。はたして市町村ではそれが守られているでしょうか。学童保育のあるべき姿を確かめ、市町村の責任で、本来のあるべき学童保育をつくるための課題を学び、交流します。	真田 祐 (大妻女子大学)
2	学童保育と保護者会	仕事が忙しいから保護者会に関われない…関わりたくない…保護者会の参加者が少ない…など、悩みの多い保護者会。保護者と支援員が思いを伝えあい共有して、共に子育てができるように、なぜ保護者会が必要なのか？大切にしていきたい事は何か？保護者・支援員、それぞれの視点から一緒に考えましょう。	中西新太郎 (関東学院大学教授・横浜市立大名誉教授)
3	運営主体を考える～民間企業の参入と学童保育運営	5年前からスタートした「子育て支援法」によって学童保育は、大きく変わりつつあります。国から示された「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準や「放課後児童クラブ運営指針」は、学童保育の拡充を進める大きな一歩となりました。一方、地方創生の流れのなかで、福祉分野などの公的な事業へ民間企業参入が促進され、学童保育も例外ではありません。そこで、学童保育のあり方や役割を今一度考えることが重要になっています。各地の実態を交流し、学童保育の実施主体である市町村行政の役割や学童保育の運営主体の役割・あり方を考え合います。	森元茂利 (福岡県連事務局長)
4	支援員の倫理綱領を学ぶ	支援員には「支援員」として遵守すべき専門職としての倫理があります。それは「制限」ではなく、「支え」であり、専門職としての柱となるものです。支援員に求められる倫理について学びあい・確かめ合いながら、倫理綱領としてまとめていきます。	石橋裕子 (NPO 法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会理事長)
5	障がいがあってもなくても、共に育ち合う学童保育をめざす	グレーゾーンと思われる子をふくめ、発達障がいの子とまわりの子ども達との間に発生しがちなトラブルに、私達はどのように対応していけばいいのでしょうか。障がいがあってもなくても、ともに育ちあえる場所にするにはどうしたら良いのでしょうか。支援員の日頃の悩みを出し合い、みんなで考え合しましょう。	佐藤久住 (特別支援学校教諭)
6	子どもたちが健やかに育つには～遊びを感覚統合の視点から見てみよう～	感覚統合を知ろう！感覚には触覚、視覚、聴覚、味覚、臭覚)に加えて、固有受容覚(手足の状態、筋肉の伸び縮みや関節の動きを感じる感覚)、前庭覚(身体の動きや傾き、スピードを感じる感覚)といった7つの感覚があります。体を操るためにはこれらの感覚を上手く使えるように処理することが重要です。この仕組みを知ることで、子どもたちのちょっと不思議な行動や遊びが、「？」から「！」に変わるかも！！	古野優子 (作業療法士)
7	子どもの権利条約～あらためて学び、今こそ活かそう！～	子どもの声を聴き、条約の子ども観を深めれば、実践が変わります。かけがえのない「子ども時代」「遊び」を保障するために、大人ができることは何でしょうか？	山下雅彦 (東海大学名誉教授)
8	記録～日々の記録を元に、支援員集団と保育の質を高める～	日々の記録を記すことの大切さと意味を考え、記録の書き方を学び、支援員集団と共に記録を活用し自らの保育のありかたや子ども理解へとつながる実践方法から保育の質を高められるよう学びあいましょう。	吉岡美保 (福岡県連会長)
9	あそびのひろば～えがおのひろば～	あそびのひろばは、あそびを豊かにする場所です。大人が楽しめば、子どもも楽しくなる。大人が笑顔になれば、子どもも笑顔になります。そんな出会いと仲間を作りに来ませんか？当日はた～くさんあそぶので、動きやすい服装でご参加ください。(大人先着 30 名まで)	あそひろスタッフ
10	子どもとメディア	子どもの遊びや生活が大きくかかわっているメディア(テレビ、ゲーム、スマホ等)、子どもたちの「世界」が、今どのように作れているのか、また、長時間使用が子どもの心や体に与える影響を知り、大人自身の使用も含め、子どもたちと一緒にどのように過ごしたら良いのか？参加者それぞれの「私ができること」を持ち帰りができるように、みんなでアイデアを出し合いましょう。	黒田可奈子 (NPO 法人子どもとメディア)
11	子どもの荒れと生きる力 (先着 60 名)	子どもの荒れは、一人ひとり様々な背景や発達の個人差が交じり合って難しい問題です。子ども達には学童保育で安心して生活を保障してあげる為に何が必要でしょうか。荒れとして表れる子どもの行動は日々満たされない事への、はけ口や SOS かもしれません。それは子どもからの生きようとする発信として捉え、今日の子どもをめぐむ状況を明らかにして、子ども理解を深めることの大切さや子育て支援を学びます。	谷口誠二 (福岡民教研)
12	アレルギーの知識と対応の仕方	近年、アレルギー疾患を抱えている子どもは増え、アレルギーの原因物質は食物や花粉、ハウスダストや金属など多岐にわたります。学童保育は、アレルギー疾患を持つ子どもとその保護者にとっても、安心・安全な場となるよう努める必要があります。特に、食物を提供する機会がある支援員が、食物アレルギーへの正しい理解と対処法を知ることが、安全確保の面でも欠かせない。本講座では、アレルギー疾患全般について知識を深めるとともに、食物アレルギー症状に対する具体的な対応を学びましょう。	岩崎七々枝 (小児アレルギーエドゥケーター)

◆参加費

- * 会員 2,000 円 両親参加 3,000 円 * 非会員 2,500 円 両親参加 4,000 円
- ◎ 弁当代 700 円(子ども用 450 円)

◆申し込み方法

* 参加申し込み・送金は下記まで
参加費（必要な方はお弁当も）を下記の口座に振り込んでいただいたうえで、
その控えのコピーと必要事項を記入した「参加申込書」をあわせて、FAXか普通郵便
でお送りください。

●参加申し込み先

申込先：福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 福岡県北九州市八幡東区祇園 2-4-22

FAX:093-662-6006

送金先：福岡県学童保育連絡協議会

< 郵便振替口座 01730-2-132265 >

- あそびの広場：保育（4才以上）の代わりに行います。参加申し込みと合わせて申し込みをしてください。（先着 60 名）詳細は別紙をご覧ください。
保育料（おやつ代、保険料含む）として 800 円を当日いただきます。

- * 申込締切：2月 3日（月）まで それ以降は、当日受付となります。
- * キャンセル：2月 15日（土）まで それ以降のキャンセルには、返金できません。
- * 受講票：申込受付後送ります。当日ご持参下さい（受講票はお弁当の引き換え券と領収書となっています。）

◆問い合わせ先：福岡県学童保育連絡協議会 TEL093-662-6000 FAX093-662-6006

◆会場：宗像ユリックス（〒811-3437 宗像市久原 400 TEL(0940)37-1311）
メイトム宗像（〒811-3437 宗像市久原 180 TEL(0940)36-0202）

<交通のご案内>

- ◆ JRをご利用の場合
 - JR 東郷駅下車 [博多駅から快速で約 30 分、小倉駅から快速で約 40 分]
 - JR 東郷駅日の里口から西鉄バス⑨番で約 10 分、『宗像ユリックス』バス停下車
 - JR 東郷駅からタクシーで約 5 分
- ◆ 車利用の場合
 - 福岡方面から約 40 分 国道 3 号線・王丸交差点を左折して約 5 分
 - 北九州方面から約 40 分 国道 3 号線・光岡交差点を右折して約 5 分
 - 九州自動車道 古賀インター、若宮インターいずれも約 20 分

